



いばらきダイバーシティ宣言

急速な人口減少社会の進展や少子高齢化、経済・社会のグローバル化の進行など、社会情勢は大きく変化しております。

このような中、活力があり、持続可能な地域社会をつくるためには、多様な人材の活用により、ニーズの変化や急激な環境の変化などのリスクへの対応力を高めることが重要であると考えます。

その実現のためには、年齢や性別、国籍、障がいの有無、性的指向・性自認等にかかわらず、一人ひとりが尊重され、誰もが個々の能力を発揮できる社会、多様性が受容されるダイバーシティ社会の実現が求められています。

私たちは、ダイバーシティ社会の実現に向けて次のことに取り組むことをここに宣言します。

私達は、患者や医療に関わる人々が多様であることを尊重し、関連する様々な分野や組織と連携した取り組みを推進し、医療における放射線の安全利用および県民への放射線の知識の普及と啓発を行います。

◎全ての会員の個性を尊重して診療放射線技術の向上発展、県民医療の向上につとめます。

◎全ての会員が多彩な個性と能力を活かしてライフワークバランスを実現できる教育・研究・診療環境をサポートします。

◎ダイバーシティの視点に立った人材育成を推進します。

◎合理的配慮を必要とする会員の支援体制を整備します。

◎患者の多様性を尊重し、分かりやすい放射線診療とその啓発活動を推進します。

令和3年9月2日

公益社団法人 茨城県診療放射線技師会

代表理事（会長） 川又 誠